

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

RI第 2820 地区

水海道ロータリークラブ

2012-2013

Mitsukaido R.C

50th Anniversary



2012-2013 年度 RI会長
田中作次

次回例会予定 8月15日 移動例会⇒8/25 納涼会
8月23日 交換学生帰国報告

VOL. 50 No.6(通算No. 2327)

2012年8月8日(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

会員卓話 白井 豊会員



写真提供:石塚利明会員

2012-2013年度

会長 青木正弘

幹事 石塚克己

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>



8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.50 No.5 (No.2326) 8月1日(水)晴れ (司会 倉持功典委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆交換学生出発前挨拶

研究会報告

ビジター

オーストラリア ツウンバRC夏季交換学生



武藤日出丸君、登坂百香さん、染谷友美子さん、古矢晴香さん

誕生祝



《会 員》北村陽太郎会員 松坂興一会員 飯塚三夫会員

《ご夫人》田上会員

2011-2012年度 100%出席表彰

鈴木 豊会員

幹事報告 石塚克己幹事

週報受理クラブ 水戸RC、水戸南RC、水戸東RC、水戸西RC

例会変更通知 牛久RC 8月13日(月) 休会

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

会長挨拶 青木正弘会長



ご挨拶申し上げます。

このところの熱帯夜の寝苦しさと、何故かついつい観てしまうロンドンオリンピックで連日寝不足で朝から運転中にあくびが何度もということで早くも夏バテかなと、思いながらも夕刻5時過ぎには元気になり調子も戻りますので、今年もこんな調子でこの夏もなんとか乗り切らなければと考えております。

さて今日は、夏季交換学生としてツウンバに行ってください、武藤日出丸君、古矢晴香さん、染谷友美子さん、登坂百香さん、そして御父兄の皆さまにはツウンバへの出発挨拶におこし頂きました。

会員一同ご歓迎申し上げます。

今回は、4人の学生さん全てがロータリアンの子供さんたちのチームで最近では珍しい事だと思いますが久しぶりに本来の形と言いますか当初の形に戻ったという事かと思えます。

8月4日に成田を出発してツウンバに向かう4人の学生さんたちには、不安と期待の入り混じった複雑な心境かと存じますが、どうぞ水海道クラブから派遣された、或いはこの地域を代表してツウンバに行くという気持ちを持って頂きオーストラリアを、そしてツウンバでのホストファミリーとのふれあいをお楽しみいただきたいと思えます。

必ず生涯、心に残る思い出となる事と思えます。素晴らしい思い出づくりと様々な経験をして、無事にお帰り頂きこの場所で元気に帰国報告を頂きますようお願い申し上げます。

交換学生出発前挨拶

武藤日出丸さん



宝町の武藤日出丸と申します。武藤康之の次男坊です。この度は、このような機会を与えていただき、誠にありがとうございます。僕は今、慶應義塾大学の2年生です。理工学部の管理工学科というところで、数学的な考え方をビジネスに生かすような、そんな内容を専攻しています。

一ヶ月ほど前に、「ホームステイでオーストラリアに行くことになったから」という電話を父親から受け、突然のことに最初は戸惑ったのですが、今この場所で、改めてオーストラリアに行くんだということを実感しています。

メンバーの中で最年長ということで、多少のプレッシャーは感じておりますが、責任感を持って行動していきたいと感じています。

また、オーストラリアに行くにあたっての第一の目標として、英語力をアップさせることをこころがけたいです。みんなに自慢できるくらいの英語耳にして帰ってきます。

古矢晴香さん



古矢 満の次女の古矢晴香です。いつもお世話になっております。

この度は、このような機会を頂き本当に感謝しています。ありがとうございます。私は英語が苦手なので、ホストファミリーのみなさんと上手にコミュニケーションとれるか正直不安です。ですが、このようなチャンスは二度とないと思うので、自分から積極的にコミュニケーションを図り、英語を学べたらと思います。皆さんに英語でご報告出来るくらいになりたいです。頑張ってきました。

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

染谷友美子さん



こんにちは。私は水海道第一高等学校一年の染谷友美子です。この度は、このような企画に参加させていただきありがとうございます。

私は海外に行く事も、ホームステイも初めての体験なので、不安な気持ちもありますが、10日間の滞在期間中オーストラリアの文化にふれ、現地の人たちと交流を深めて来たいと思います。

また、英語力など一つでも多くの事を身につけられたらと思います。滞在期間中は、ホストファミリーの方々に迷惑をかけないよう、自分のできることを精一杯頑張ります。宜しくお願いします。

登坂百香さん



東葛飾高校の登坂百香です。今回はこのような機会をくださりありがとうございます。言葉の通じない海外で、さらにホームステイということで不安もたくさんあります。私は姉が2人ともオーストラリアに行った事があり楽しかったことや素晴らしかったことなどを聞いているので、期待の方が多いです。

また、英語は学校で習っているとはいえ、実際あまり使った事がないので正直自信はありません。しかしこの機会になにか今後の役に立つものを得られたらと思います。



7月7日(土)オリエンテーション

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

研究会報告

ロータリー財団セミナー 横山 修副委員長



2012-2013年度 RI第2820地区の、ロータリー財団セミナーが7月28日(土)つくば市ホテルグランド東雲で行われました。当クラブからは、私横山と午後からは熊谷会長エレクトが参加致しました。午前9時30分より午後4時までの長時間のセミナーでした。セミナーの内容は下記の通りです。

野掘喜作ガバナーの挨拶の後、

1. オリエンテーションとロータリー財団情報報告

佐藤 衛R財団総括委員長により、寄付がどのように使われているかの報告と、今年度一人100ドル以上の寄付をお願いしたいとの報告がありました。

2. 各委員会報告

《財団寄付について》

坂本 稔財団寄付・ポリオ委員長により、ロータリアンが世界の貧しい人たちの健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにとの話がありました。また、そのための新補助金体制における6つの重点分野に関する説明がありました。

【新補助金体制における6つの重点分野】

- ① 平和と紛争予防解決
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛生設備
- ④ 母子の健康(保健)
- ⑤ 基礎教育と識字率向上
- ⑥ 経済開発と地域開発

《地区補助金について》

木内洋一補助金委員長により、地区補助金ガイドラインについての報告がありました。

＜GSEの魅力について＞

清水 清GSEアドバイザーにより、GSEは本年度で最後となり、次年度よりVTT(人道的支援)に移行するとの報告がありました。

＜GSEについて＞

神前良太郎GSE委員長により本年度4名派遣、8月15日までに補充締切とのこと。

＜ARRFCとして＞

北村 仁ロータリー財団コーディネーターより御挨拶がありました。

＜未来の夢計画について＞

片岡信彦夢計画準備委員長より効果的な寄付金の使用を目指すために、単なる援助ではなく、持続性という観点から小さな事業を数多く実施するより、大きな事業に力を入れる方が費用効果が高いということでした。

＜地区補助金・グローバル補助金について＞

清水 清、山崎清司PGによりDDF(地区財団活動資金)の内、ロータリー財団の人道的プログラムの一つとして、始まった地区補助金制度は、2013-2014年度から新地区補助金とグローバル補助金となります。本年度(野掘年度)の第2820地区の地区補助金額は28,240ドルとなっています。

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

クラブ奉仕・職業奉仕研究会



7月28日に財団セミナーがあり、会長エレクトは午後よりの出席という案内を頂き出席してきました。未来の夢計画について、今年度から勉強して次年度に実施を。

従来の地区補助金のあり方が色々な補助金の種類がありましたが、新地区補助金とグローバル補助金に集約されて、地区で効果的な使用についてかなり責任を持たせるという内容になっています。

GSEは文化交流的でしたが、VTTは職業専門的で年齢制限や期間の取り決めも無いようです。準備委員会でも難しい内容なので、良く勉強してとのことでした。

次の日には、クラブ奉仕・職業奉仕合同研究会が開催されました。会員の少ないクラブより要望があり、負担軽減のために合同での開催となりました。

午前中は「クラブ活性化と奉仕の心」と題して、RI会長の地区の北パストガバナーによる講話でした。

1クラブ4名の出席となりますので、59クラブありますからかなりの規模での全体会になりました。

午後よりは、分科会となりました。



クラブ管理運営 鈴木 豊委員長

合同研究会が開催され出席してまいりました。午前中の全体会議は、熊谷会長エレクトが報告されましたので、ここでは省略致します。

午後の部は分科会となり、クラブ管理運営委員会に参加しました。根本 昇委員長の全体説明があり、会員の退会防止に努めクラブの維持発展に貢献することが大切と話されておりました。次に、地区のホームページのご案内ということで、HP委員会から説明があり地のHPを大いに活用して頂きたいとの事でした。

次に、全体を五つのブロックに分け

① クラブ例会を活発化するためにどのような工夫をしておりますか。例会プログラムの工夫ほか

② 会員同士の親睦をはかるためにどのような活動をしておりますか。

その一つのグループリーダーとして、突然指名され上記の2案について話し合い、意義ある時間を持ってました。報告と致します。

ロータリー情報委員会 石塚克己幹事(代理)

田上ロータリー情報委員長の代理で参加してきました。

全体会は熊谷会長エレクトが触れましたので午後の会長エレクト、ロータリー情報部門の分科会を報告致します。当初は分区単位でのテーブルのようでしたが、名簿や席の表示がなく、皆、お腹が空いていたので来た順に自由に昼食、結果、そのテーブルが分科会の班になりました。

テーマは「会員増強の中期計画の策定」と「ロータリー情報の強化」

井澤卓司会員組織委員長の約 30 分間のスピーチ後、分科会でのロータリアン同士の討議討論となりました。進行役や役割分担などは無く、テーブルごとに“好きにやって、好きに討議して、まとめの発表は2テーブルを“じゃんけんぽん“で決めました。

当テーブルも最初は遠慮がちでしたが次年度会長やロータリー情報委員長の集まりということもあり、熊谷エレクトがクラブの現状を自前の大きい声で切り出したら、水戸クラブ、友部クラブ、玉造クラブのロータリアンも次第にクラブの実情をお話しされ、結果、時間が足らなくなりました。

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

意見交換の大半はやはり会員増強と例会運営の在り方でした。特に水戸クラブでの写真と社是入りの会員名簿や趣味の会のこと、その他、女性会員の入会や活動なども話題に上がり、とても参考になった次第です。

最後に、こうしたロータリーの研修やセミナーに出席するたび、時間の大半が委員長や部会担当者のスピーチに割り当てられ、結果、ロータリアン相互の生の情報交換の時間が少なくなってしまうということ、何とかその辺を改善していただきたい、そう思いました。

職業奉仕研究会 武藤康之委員長



参加日及び場所 7月29日(日) 水戸三の丸ホテルにて

ロータリーは、職業倫理を重んじる実業人、専門職業人の集まりである。ロータリークラブを構成する実業人、専門職業人であるロータリアン一人一人に経営学、サービス学の実践が説かれ、実践が多ければ多いほど、事業の繁栄がもたらされる。ロータリアンの根底に宿るこの精神こそ唯一ロータリーだけが説く職業人としての奉仕の心である。

出席報告 (北村陽太郎委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メイク	出席率
57名	42名	15名	0名	14名	98.25%

ニコニコボックス (五木田裕一委員長)

入金計 ¥67,000 累計¥396,000

誕生祝御礼《会員》飯塚・松坂・北村(陽) 各会員 《ご夫人》田上会員

各委員長さんセミナー並びに研究会に出席頂きご苦労様でした。ツウンバに行く学生さん、スピーチお願いします。 青木(正)会員

交換学生の皆さん、オーストラリアを楽しんで来て下さい。7、8月連日の研究会参加大変お疲れ様です。

石塚(克)会員

お蔭様で我が社も創業50周年となりました。(株式会社染谷工務店) 染谷(昭)会員

19年ぶりにホールインワンを達成しました。 白井会員

息子がお世話になります。 武藤会員

娘がお世話になります。 染谷(秀)会員

娘がお世話になります。宜しく申し上げます。 古矢会員

やっとツウンバと連絡が取れました。交換学生の皆さん、これで安心です。ホームステイ楽しんで来て下さい。 登坂会員

8月になりました。まだまだ暑い日が続きますが、会員の皆様お体ご自愛下さい。ツウンバへの交換留学生の皆様は冬のオーストラリアです。体調管理に注意して元気に楽しんで来て下さい。 熊谷会員

毎日暑い日が続きますが皆様ご自愛下さい。 高須会員

出席100%頂きました。先週休みました。 鈴木(豊)会員

早退します。 瀬戸会員

例会欠席しました。 二本松・砂長 各会員

会報委員会 松崎隆詞委員長 五木田利明副委員長 高須 薫委員

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

心に残るロータリー体験



ロータリアンの皆さん、ロータリーって何ですか。私がロータリアンにこの質問をすると、いつも曖昧な答えが返ってきます。実は私自身も、この問いについて考え込んでしまいます。8月はロータリーの会員増強および拡大月間です。ロータリーとは何か、なぜロータリーに入会したのか、皆が統一したメッセージを発信できるようになることを願っています。

会員を増やす鍵は、一人ひとりのロータリアンが、ロータリアンになって良かったと納得し、他の人たちに情熱を伝えることです。ロータリアンは謙虚で、自らが達成したことをひけらかしたりはしません。しかし、私たちは、自らの信念と熱意を、身近な人々、そして世界の人々に伝えていかなければなりません。

ロータリアンなら誰しも、自分にとって特別な意味のある経験があるかと思います。これを、「ロータリー・モメント(心に残るロータリー体験)」と呼ぶ人もいます。このような経験を分かち合うことは非常に大切なことだと私は信じています。事実や数字だけでは、それ以上のことは相手に伝わりません。しかし、個人的体験は、相手の心に訴え、友情を築く力があります。

こうした理由から私は、個人的体験に基づくメッセージの例、つまり「ロータリー・モメント」をいくつか用意することに決めました。「ロータリーとは何か」と尋ねられた時、皆さまの個人的な体験を伝える1分と3分のメッセージを使うことができます。自分が参加したプロジェクト、地域社会への影響がどのようなものであったか、また自分にとってどのような意味があったのかについて話をするのに役に立つでしょう。

力強いロータリーを築くには、より多くの会員が必要です。しかし、今いる会員がロータリーという組織の恩恵を確信することなく、その情熱を伝えることができなければ、ロータリーが拡大しても意味あるものにはなりません。

一人ひとりがロータリアンであることに充実感を覚え、明確で統一されたメッセージを発信することができれば、すなわち、世界中のすべてのロータリアンがおのおの広報の担当者になることができたとしたら、それらの一つひとつが結びつき、蓄積して、計り知れないほどの効果が表れるでしょう。このようなメッセージの例は、自らの熱意を明確に相手に伝えていく手助けになるでしょう。それは、会員の増強と維持にもつながるはずです。

このメッセージは、ロータリーのウェブサイト(www.rotary.org)でご覧いただくことができます(本誌横組みP54参照)。また、会員増強用の資料は、shop.rotary.orgで注文することもできます(国際ロータリー日本事務局でも注文できます)。

人生の目的は、互いに助け合い、社会に貢献することだと私は信じています。ロータリーがいったんこれらの例を使い始めれば、世界は、支援の手を差し伸べるロータリーの存在を、より明確に認識してくれるでしょう。ぜひ、皆さんのロータリー・モメントを、ロータリアンはもとよりロータリアン以外の人にもご紹介ください。

SAKUJI TANAKA

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

Copyright 2003-2011 THE ROTARY-NO-TOMO

Rotary World Magazine Press

ロータリーの友

ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
email hensyu@rotary-no-tomo.jp